

熊本県の農林水産業の概要

特徴・取組

熊本県は、世界最大級のカルデラを有する阿蘇や、美しい島々からなる天草に代表される素晴らしい自然にあふれており、阿蘇山、九州山地に源を発する菊池川（きくちがわ）、球磨川（くまがわ）などの一級河川や豊富な地下水など、水資源にも恵まれている。

また、三方を山に囲まれているため、天草地方を除いて、全体的に内陸性気候であり、年平均気温は熊本市で17℃前後、阿蘇地方で13℃前後、年間降水量は平地で約2,500mm、山地で約3,000mmとなっている。

さらに、日本最大の干潟を有する有明海、内湾で東シナ海に湾口を開く八代海、対馬暖流に面する天草灘の3海域を有している。

産業構造は、県内総生産（令和元年度：6兆3,634億円）を産業別にみると、第1次産業が1,877億円（3.0%）、第2次産業が1兆6,216億円（25.5%）、第3次産業が4兆5,156億円（71.0%）となっている。

豊かな自然の恵みを背景に、農業では、米・野菜・果樹・畜産をはじめ多彩な農畜産物が、林業では、すぎやひのきの木材や、しいたけなどの特用林産物が生産されている。水産業では、3海域の特徴を活かした養殖業や、漁船漁業が盛んに行われている。

農業就業人口は、全国と同様に高齢化等により減少する中、新たな担い手となる新規就農者の就農形態は、親元就農、新規参入や、農業法人への雇用就農など多様化している。

これらに対応するため、県では、第一線で活躍する農業経営者・学識経験者らが講師となり、次世代の農業を担う農業者を育成するための「くまもと農業経営塾」や、最新の農業知識や農業技術等をテーマにした学びの場である「くまもと農業アカデミー」を開催し、多様な担い手の育成を図っている。

$P \cdot Q \cdot C$ （ P （価格） $\times$ Q （量） $- C$ （コスト））の最適化による所得向上のため、高品質化、生産安定、コスト削減の取組と併せて、広域農場（メガ法人）の育成や農地集積などを推進している。また、平坦地と比較して生産条件に恵まれていない中山間地域における農地集積への支援、きめ細やかな基盤整備、小面積でも農業所得を確保できる施設園芸や商品性の高い品目の導入など収益の柱となる農産物の生産を推進し、「稼げる農業」の更なる加速化へ向けて取り組んでいる。

主な農林水産物

米

西日本有数の米生産県であり、平成30年本格デビューの「くまさんの輝き」「森のくまさん」などの特色ある米を生産。
（収穫量全国16位）



い（い草）

県オリジナル品種「涼風」等を育成。平成28年2月に「くまもと県産い草」、「くまもと県産い草畳表」はG I登録。（収穫量全国1位）



すいか

促成栽培により、全国に先駆けて出荷。熊本、鹿本菊池、上益城が主な産地。
（収穫量全国1位）



トマト

八代・玉名の冬春トマト阿蘇・上益城の夏秋トマトなど、地勢や気象条件を活かして周年生産。
（収穫量全国1位）



みかん

海岸島しょ地域の気候を活かし、県独自品種を含めたりんご出荷を実施。
（収穫量全国4位）



不知火類（登録商標：デコポン）

皮がむきやすく食味が良い柑橘類。県独自品種「肥の豊（ひのゆたか）」の導入により品質向上。
（収穫量全国1位）



肉用牛

黒毛、褐毛和種（あか牛）交雑種など多彩な肉用牛を生産。平成30年9月には「くまもとあか牛」がG Iに登録。
（飼養頭数全国4位）



宿根かすみそう

菊池、宇城、天草で栽培が盛ん。全国有数の生産量を誇り、冠婚葬祭等のニーズに対応。
（出荷量全国1位）



木材（すぎ・ひのき）

育苗技術を活かして県下一円で植栽。
（すぎ：素材生産量全国6位）（ひのき：素材生産量全国3位）



まだい・くるまえび（養殖）

温暖な気候を活かした海面養殖業が盛ん。
（まだい：収穫量全国2位）（くるまえび：収穫量全国3位）



熊本県内の各地域における農林水産物

県央地域

【農産物】トマト、すいか、メロン、なす、みかん、不知火類（登録商標：デコポン）、日本なし、くり、宿根かすみそう、洋ラン、トルコギキョウ、茶
【林産物】乾しいたけ、たけのこ、竹材
【水産物】のり、あさり、くるまえび

県北地域

【農産物】トマト、いちご、すいか、なす、みかん、日本なし、キンカン、宿根かすみそう、トルコギキョウ、キク、茶
【林産物】乾しいたけ、たけのこ、竹材、竹炭、竹酢液
【水産物】のり、あさり、くるまえび

天草地域

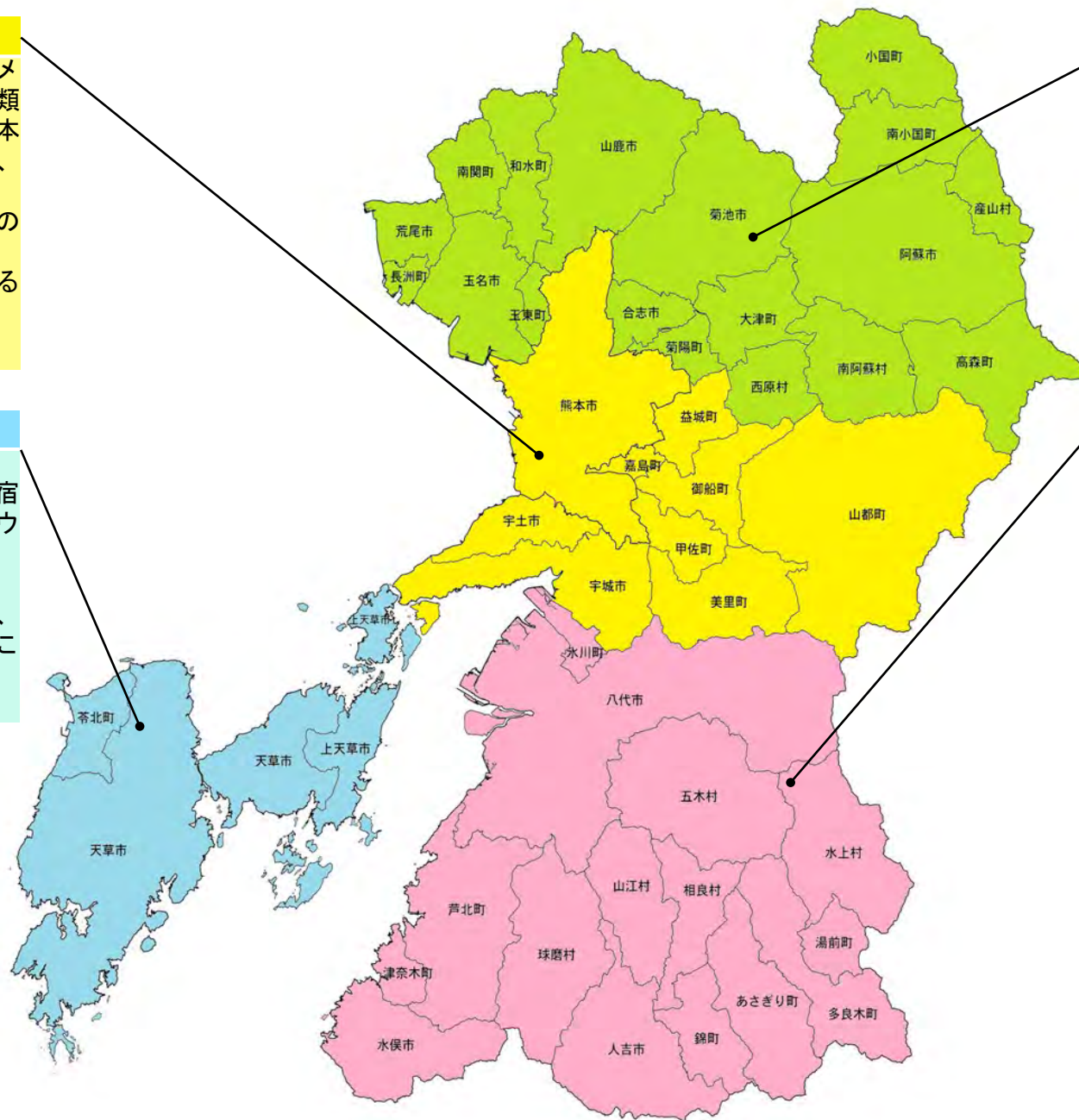
【農産物】不知火類（登録商標：デコポン）、河内晩柑、宿根かすみそう、トルコギキョウ、キク
【林産物】きくらげ類、木炭
【水産物】まだい、しまあじ、くるまえび、ぶり、ひらめ、このしろ、ふぐ類

県南地域

【農産物】トマト、いちご、メロン、なす、カリフラワー、しょうが、不知火類（登録商標：デコポン）、甘夏みかん、晩白柚（柑橘類）、日本なし、くり、トルコギキョウ、キク、畳表（い草）、茶
【林産物】乾しいたけ、きくらげ類、木炭、竹炭
【水産物】たちうお、このしろ

県全域

【農畜産物】水稻（森のくまさん、くまさんの力、くまさんの輝き等）、葉たばこ、牛乳、牛肉、豚肉、鶏肉、鶏卵
【林産物】すぎ、ひのき



熊 本 県 の 農 業 (1)

- ・耕地面積は10万5,900haで全国13位。うち田が6万4,900ha、畑が4万1,000ha。
- ・農業経営体数は3万3,952経営体で全国9位。うち法人経営体が1,077経営体で5位。
- ・認定農業者数は1万75経営体で全国3位。うち法人が1,092法人で4位。

耕地面積

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
耕地面積	105,900 ha	4,325,000 ha	13
田	64,900 ha	2,352,000 ha	13
畑	41,000 ha	1,973,000 ha	8
普通畑	21,900 ha	1,123,000 ha	15
樹園地	13,000 ha	258,600 ha	6
牧草地	6,100 ha	591,300 ha	4
参考) 総土地面積	740,918 ha	37,797,356 ha	15

出典:「令和4年耕地面積(7月15日現在)」、「令和5年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	9,278 ha	259,502 ha	10

出典:「令和3年度の都道府県別の荒廃農地の発生状況」

担い手への農地の集積状況

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	54,524 ha	2,560,109 ha	10
集積率	50.7 %	58.9 %	16

出典:「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和3年度版)」

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和5年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「0」: 単位に満たないもの(例: 0.4t→0t)

「-」: 事実のないもの

「…」: 調査を欠くもの

「x」: 秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」: 秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
農業経営体数	33,952 経営体	1,075,705 経営体	9
法人経営体	1,077 経営体	30,707 経営体	5
総農家数	47,879 戸	1,747,079 戸	13
販売農家	32,529 戸	1,027,892 戸	8
参考) 世帯総数	719,154 世帯	55,830,154 世帯	24
集落営農数	394 集落営農	14,364 集落営農	16

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(令和4年2月1日現在)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	51,827 人	1,363,038 人	4
男	30,444 人	822,144 人	4
女	21,383 人	540,894 人	5
65歳以上	31,780 人	948,621 人	7
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	61.3 %	69.6 %	-
認定農業者数	10,075 経営体	222,442 経営体	3
法人数	1,092 法人	27,974 法人	4
参考) 総人口数	1,738,301 人	126,146,099 人	23

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和4年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

熊 本 県 の 農 業 (2)

- ・ 農業産出額は3,477億円で全国5位。うち畜産が1,318億円、野菜が1,186億円、果実が362億円。
- ・ 農畜産物の生産状況は、い（い草）、トマト、すいか、宿根かすみそう、シラヌヒ（デコポン）、葉たばこが全国1位。
- ・ 農業生産関連事業は、農産加工の年間販売金額が408億円で全国7位、事業体数は860事業体で10位。

農業産出額

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
農業産出額	3,477 億円	88,384 億円	5
米	302 億円	13,699 億円	17
麦類	9 億円	709 億円	8 *
雑穀	0 億円	78 億円	18
豆類	5 億円	697 億円	20
いも類	61 億円	2,358 億円	7
野菜	1,186 億円	21,467 億円	4
果実	362 億円	9,159 億円	7
花き	94 億円	3,306 億円	10
工芸農作物	89 億円	1,727 億円	5
その他作物	27 億円	587 億円	7 *
畜産	1,318 億円	34,048 億円	5
肉用牛	454 億円	8,232 億円	4
乳用牛	341 億円	9,222 億円	3
生乳	300 億円	7,861 億円	3
豚	255 億円	6,360 億円	9
鶏	236 億円	9,364 億円	16
鶏卵	100 億円	5,470 億円	22
ブロイラー	107 億円	3,740 億円	6 *
その他畜産物	32 億円	869 億円	3
加工農産物	25 億円	549 億円	7

出典：「令和3年生産農業所得統計」

農畜産物の生産状況

区 分		年次	熊 本 県	全 国	全国順位
い（い草）	収穫量	R4	5,810 t	… t	1 *
トマト	収穫量	R3	132,500 t	725,200 t	1
すいか	収穫量	R3	49,300 t	319,600 t	1
宿根かすみそう （切り花類）	出荷量	R3	19,600 千本	50,800 千本	1
シラヌヒ（デコポン）	収穫量	R2	11,824 t	38,854 t	1
葉たばこ	販売重量	R3	2,684 t	14,237 t	1 *
なす	収穫量	R3	33,300 t	297,700 t	2
メロン	収穫量	R3	25,400 t	150,000 t	2
肉用牛	飼養頭数	R4	133,600 頭	2,614,000 頭	4
水稻	収穫量	R4	156,800 t	7,269,000 t	16

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「葉たばこ販売実績（全国たばこ耕作組合中央会）」、「畜産統計」

農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
農産加工	総額 40,770 百万円 事業体数 860 事業体	953,268 百万円 30,550 事業体	7 10
農産物直売所	総額 36,514 百万円 事業体数 570 事業体	1,046,385 百万円 22,680 事業体	8 17
観光農園	総額 389 百万円 経営体数 50 経営体	32,634 百万円 4,990 経営体	26 25
農家民宿	総額 39 百万円 経営体数 20 経営体	3,992 百万円 1,180 経営体	23 * 14 *
農家レストラン	総額 1,077 百万円 事業体数 40 事業体	30,336 百万円 1,260 事業体	7 * 5 *

出典：「令和3年度6次産業化総合調査」

熊 本 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は190億円で全国7位。うち木材生産が168億円、栽培きのこ類生産が20億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国6位、ひのきが3位、特用林産物で、竹材が2位。

林業産出額

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
林業産出額	190.2 億円	5,456.6 億円	7
木材生産	168.4 億円	3,254.1 億円	4 *
栽培きのこ類生産	20.1 億円	2,091.6 億円	23

出典：「令和3年林業産出額」

林野面積

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
林野面積	466,250 ha	24,770,201 ha	18
国有林	62,968 ha	7,153,338 ha	17
民有林	403,282 ha	17,616,863 ha	18
人工林面積	278,846 ha	10,133,111 ha	9

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業経営体数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
林業経営体数	1,255 経営体	34,001 経営体	7
法人経営体	110 経営体	4,093 経営体	12

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林産物の生産状況

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
素材生産量	1,013 千m ³	21,847 千m ³	6 *
針葉樹	982 千m ³	20,088 千m ³	6
すぎ	761 千m ³	12,917 千m ³	6
ひのき	220 千m ³	3,079 千m ³	3
広葉樹	31 千m ³	1,759 千m ³	12 *
竹材	生産量 132 千束	916 千束	2
たけのこ	生産量 2,287 t	19,917 t	4
黒炭	生産量 370 t	4,098 t	3 *
乾しいたけ	生産量 226 t	2,216 t	3 *

出典：「令和3年木材需給報告書」、「令和3年特用林産基礎資料」

製材工場数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
工場数	126 工場	3,948 工場	8
製材用素材の入荷があった工場数	126 工場	3,892 工場	8
国産材のみ	120 工場	3,138 工場	5
国産材と輸入材	6 工場	607 工場	33

出典：「令和3年木材需給報告書」

熊 本 県 の 漁 業

- ・ 漁業産出額は334億円で全国11位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業のちうおが全国2位、海面養殖業のまだいが2位、内水面養殖業のうなぎが8位。
- ・ 漁業生産関連事業は、水産加工の年間販売金額が35億円で全国14位、事業体数は60事業体で6位。

漁業産出額

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	334 億円	12,103 億円	11

出典：「令和2年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	2,829 経営体	79,067 経営体	9
内水面漁業経営体数	71 経営体	4,772 経営体	19

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	5,392 人	151,701 人	9
男	4,195 人	134,186 人	11
女	1,197 人	17,515 人	5

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁船隻数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
漁船隻数	4,800 隻	132,201 隻	11
動力漁船	2,591 隻	69,920 隻	10

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	65,373 t	4,163,072 t	19 *
海面漁業漁獲量	11,836 t	3,236,431 t	31
ちうお	871 t	7,190 t	2
このしろ	465 t	3,698 t	3
海面養殖業収穫量	53,537 t	926,641 t	8 *
まだい	9,754 t	69,441 t	2 *
くるまえび	245 t	1,253 t	3 *
内水面漁業・養殖業生産量	442 t	51,757 t	19 *
内水面漁業漁獲量	33 t	18,904 t	26
あゆ	17 t	1,854 t	13
内水面養殖業収穫量	409 t	32,854 t	13 *
うなぎ	244 t	20,673 t	8 *

出典：「令和3年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
水産加工	3,510 百万円	170,100 百万円	14 *
事業体数	60 事業体	1,470 事業体	6 *
水産物直売所	215 百万円	32,443 百万円	28 *
事業体数	20 事業体	820 事業体	12 *
漁家民宿	35 百万円	5,553 百万円	24 *
経営体数	10 経営体	800 経営体	16 *
漁家レストラン	444 百万円	9,696 百万円	10 *
事業体数	10 事業体	430 事業体	10 *

出典：「令和3年度6次産業化総合調査」

熊本県の農林水産業の話題等

熊本地震および令和2年7月豪雨からの復旧・復興状況

【熊本地震】平成28年4月発生

農地や営農施設の復旧事業により、営農再開を目指す農家については、令和3年3月末に「営農再開100%」を達成。

また、大規模な地表面の亀裂等が発生した農地については、創造的復興の取組として、単に元の姿に戻すだけでなく、担い手への農地集積を図るため、秋津（あきつ）地区（熊本市・益城町）、阿蘇谷地区（阿蘇市）、乙ヶ瀬（おとがせ）地区（南阿蘇村）で区画の拡大等の基盤整備を完了した。

令和4年度からは、立野（たての）地区（南阿蘇村）で、担い手への農地集積、高収益作物の導入など、新たな芽吹きによる地域農業の再生を目指す基盤整備に着手している。

【令和2年7月豪雨】

令和2年11月に「令和2年7月豪雨からの復旧・復興プラン」を策定後、喫緊の取組として、山地災害の早期復旧と治山施設の整備、地域と連携した「田んぼダム」の推進、多様で健全な災害に強い森林（もり）づくりなどを進めている。

新型コロナウイルス感染症への対応

外食や業務用需要、インバウンドの減少等により、農林水産業は、畜産物、水産物、野菜等の幅広い品目で影響を受けた。

令和2年後半以降は、生産量の調整や新たな販路開拓等の取組により、全体としての影響は軽減傾向にあるものの、需要が減少した県産農林水産物の消費喚起に向け、広報やキャンペーン等を継続的かつ積極的に展開している。

熊本県農林水産物等の輸出実績が過去最高を更新

海外バイヤーとのオンライン商談会や海外小売店での「熊本フェア」など、輸出拡大に積極的に取り組んだ結果、令和3年度の輸出は、前年度より約18億円増加し過去最高の約96億円となった。

品目別にみると、アメリカ、タイ向けの牛肉、中国向けの丸太、北米向けの水産物等が大幅に増加している。

農地畦畔の損壊

↓
基盤整備事業の説明

↓
創造的復興（農地の集積等）



立野地区（南阿蘇村）の取組



銀座熊本館での「新米」フェア



オンライン商談会の様子